



## サービス業

業況DI値	
前年比	-17.4
先行き	-14.5
前回比	9.9
対象企業	107社
回答企業	69社

業況・売上はわずかに改善、採算・資金繰りは横ばいを示した。業種別にみると、「情報サービス」の業況は前回に続きプラスとなった。前回比では、「観光旅館」の業況はわずかに改善を、「タクシー」の業況・採算はわずかに悪化を、「運送」では採算・資金繰りは悪化、業況もわずかに悪化を示した。

3か月先見通しは、資金繰りはわずかに改善、業況・売上・採算は横ばいを見通している。業種別にみると、「情報サービス」の業況はプラス幅が縮小すると見通している。

### 自由意見

重油の料金UPで負担増。7月〜9月、JRのデスティネーションキャンペーンでの集客UPで売上増。

【旅館・ホテル】  
自社ソフトウェアとお客様のITが合致すれば集客増・売上増に確実に結びつくことが7月〜9月で証明できました。今後も需要の変化を的確に読み、お客様にとってよりよい価値観を感じていただけるよう努力してまいります。

【旅館・ホテル】  
9月の実績が良かったのは、JRが7月〜9月まで会津のデスティネーションキャンペーンを実施した成果によるものと思います。

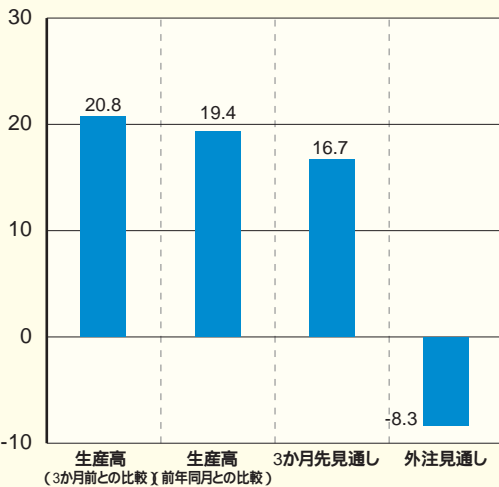
【旅館・ホテル】  
1 デスティネーションキャンペーンで、多少の売上増加。  
2 燃料高騰が大問題。 3 会津地区の経済が悪い。

【タクシー】  
夜間の客数が減少し、その分を従業員のカンパリで何とかカバーしている状況。燃料の単価アップ分のカバーは難しい。

【タクシー】  
原油価格の高騰で原価率が悪化しており、損益に多大な影響を及ぼしております。軽油取引税の凍結などの措置を図ってまいります。

【運送】  
軽油の高騰がどこまで続くか心配です。経営に大きく響いています。

## 全業種



の業種で改善傾向が見られるものの、「一般機器」では変わらず、「縫製」では大幅なマイナス傾向としている。

**業況3か月先見通し** 業況3か月先見通しでは、「精密機器」「鉄鋼・非鉄」「一般機器」「プラスチック」の業種では良化の見通しとしているが、「輸送用機器」「縫製」は変わらず、「金属製品」ではマイナスとしている。

**外注見通し** 外注見通しについては、「鉄鋼・非鉄」「精密機器」「プラスチック」「金属製品」は良化とし、「縫製」「電気機器」「一般機器」「輸送用機器」ではマイナスとしている。

前回調査結果(6月末時点)に比べ、生産高の3か月前比は10.5ポイント上昇し、好調に推移している。

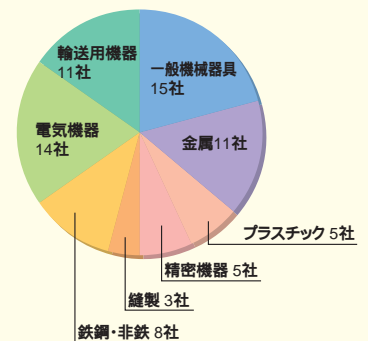
生産高前年同月比・3か月先見通しについても総じて改善傾向が見られ、微増ながら明るさが見られる結果となっている。

外注見通しについては前回調査に引き続き、0.9ポイント下降し、厳しい結果となった。

**生産高** 3か月前比の生産高においては、「精密機器」「プラスチック」「鉄鋼・非鉄」「輸送用機器」「電気機器」

## 発注動向

調査時期:平成17年10月(9月末時点)  
(対象企業150社、回答企業72社)



## 各業種

